

モノづくりを企てよう。

令和7年度

少数精鋭

起業支援プログラム



日本で唯一の生産工学部
日本大学生産工学部

1 目的：在学中に本気で起業を目指す

日本大学生産工学部から学生起業家を輩出することを目指します。

起業したい学生を本気で支援するプログラムです。

2 特徴：一貫したサポートを提供

- ①基礎的指導から事業プランや資金調達^(注1)まで一貫したサポートを提供します
- ②経営コンサルタント1人^(注2)に対して学生は3組^(注3)まで、マンツーマンに近い形式
- ③学内の教授陣から専門分野のサポートが受けられます
- ④学内のインキュベーションルームに専用デスクを用意します
- ⑤学内で資金調達コンペティションを実施します
- ⑥起業することが目的ですので、単位の認定は伴いません

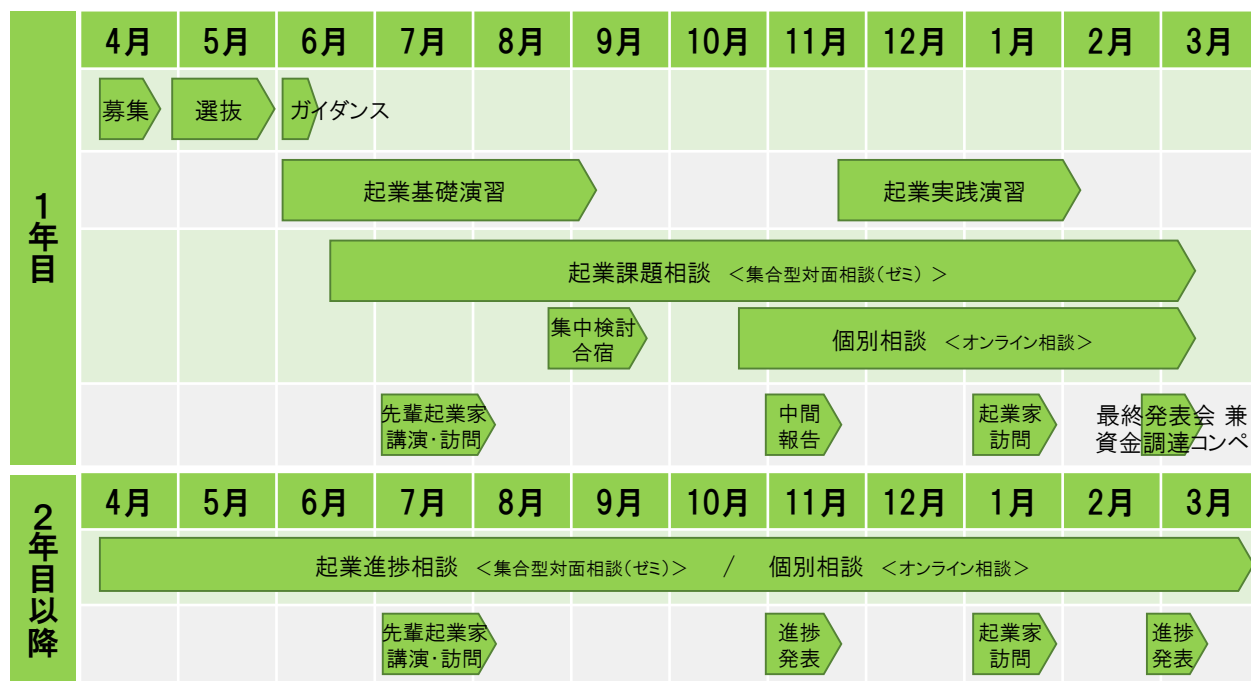
(注1) 借入金等の返済が必要な資金の受け入れは行わないものとします

(注2) 全体を統括するインキュベーションマネージャーと技術的側面から支援するテクニカルアドバイザーです
経営コンサルタントは、創業支援の経験が豊富な外部の経営コンサルタントです

(注3) 1組3人までとします

3 実施スケジュール：個別伴奏型支援で手厚く

1年目の前半は事業コンセプトを固めるために手厚く指導していく方式を取り、後半は参加学生の状況に合わせ個別伴奏型支援の形式で進めます。2年目以降の学生も継続的に相談支援が受けられるようにして、起業まで継続してサポートする体制を用意しています。



4 カリキュラム：9種類のカリキュラムを用意

起業支援プログラムでは、在学中の起業に向けて一貫したサポートを提供するために1年目に9種類のカリキュラムを用意しています。

また、2年目以降も継続して個別相談にて指導を受けることができます。

カリキュラム一覧

	カリキュラム	内容
1年目	ガイダンス	- 参加学生と講師の顔合わせをします 1年間の実施スケジュールや推進方法について説明します
	起業基礎演習	「事業コンセプト」を作るために必要な知識を演習形式で学びます - 学生に演習課題を課して学習した内容を発表します
	起業実践演習	「事業計画書」と「収支計画・資金調達」に必要な知識を演習形式で学びます - 学生に演習課題を課して学習した内容を発表します
	起業課題 相談支援 ＜集合型対面相談＞ (ゼミ)	- インキュベーションルームに全員が集まり、検討状況を共有します - 起業に向けた検討・活動の進捗を確認し、課題を洗い出し、指導します - 前半は、事業コンセプト作りとプロトタイプ製作に主眼を置きます - 後半は、事業の検証と事業計画書に主眼を置きます
	先輩起業家 講演・訪問 (2年目も参加可)	- 先輩起業家の起業経験を聞き、起業のイメージや楽しさを学びます - 先輩起業家のオフィスを訪問して実際の起業後の姿に触れます - 起業後の活動をイメージできるようにします
	集中検討合宿	- 集中できる学外環境で起業を検討する2日程度の合宿を夏季休暇に実施します - 事業コンセプトの完成とプロトタイプ製作を目指します
	個別相談支援 ＜オンライン相談＞	- 学生と経営コンサルタントが1対1で具体的な内容の相談をします - 時間や場所に縛られないオンライン形式で柔軟に相談が受けられます
	中間報告	- 前半の成果（事業コンセプト、プロトタイプなど）を発表します - 後半に向けて、協力して欲しいことなどを発表します
	最終発表会 兼 学内資金調達 コンペティション	1年間の起業に向けた検討・活動の成果を発表します - 起業に詳しい審査員を学外から招聘し、第三者の目線も加えて評価します - 発表は審査され、評価に応じて起業・事業化資金を提供します
2年目以降	起業課題 相談支援 ＜集合型対面相談＞	- 継続して相談支援にて指導を受けることができます - オンライン形式でフレキシブルに指導を受けることもできます
	進捗発表	プログラムのOB/OGが起業に向けた状況を、中間報告会や最終成果報告会にて報告します



起業課題相談支援



集中検討合宿



学内資金調達コンペティション

5 エントリーについて

① プログラム参加希望者の心得

- ・ 起業の主体は学生自身であり、経営コンサルタントは相談相手であることを理解している
- ・ 学生自身が自主的・主体的・意欲的に取り組む
- ・ 起業を目指す他の参加学生とは起業仲間として互いに切磋琢磨し「起業」という挑戦を楽しむ

② 選抜試験を実施します

簡易創業計画書の内容と起業意欲により書類と面接にて審査・選抜します

(詳細は別途公開します)

③ エントリー可能な学年は、学部生、修士1年生とします

学部1年生は「入学時の熱い思いを実現するための起業」を目的とします

学部2年生は「1年生の時に落選した学生の再チャレンジ」^(注1)を目的とします

学部3年生は「4BE修了生の起業」を目的とします

学部4年生は「就職ではなく起業を本気で考える学生の起業」^(注2)を目的とします

修士1年生は「専門知識が豊富な大学院生の起業」を目的とします

④ エントリーに際して簡易創業計画書の提出を求めます(詳細は別途公開します)

(注1) 4BE受講経験者は対象外とします。(注2) 大学院への内部進学希望者を対象にします。就職希望者は対象外です。

6 Q & A

① Q: 経営の勉強をしたことがありませんが申込みできますか？

A: 申込の条件として、経営の知識の有無は問いません。ただし、起業したい強い想いとそのために起業に関する知識を身につけたい強い意欲、在学中に起業する意思があることが求められます。

② Q: 4BEとの併願は可能ですか？

A: 4BEとの併願は可能です。4BEの申し込み締切り前に合否結果が出ます。

③ Q: 学費以外の費用はかかりますか？

A: 学費の追加はありません。ただし、活動中に実費で費用が発生することはあります。

④ Q: 単位認定はありますか？

A: 単位認定はありません。起業に向けて事業プランを楽しみながら集中して考え、実際に起業するコースです。

⑤ Q: 起業プランの事例はどのようなものがありますか？

A: 研究分野の知識・経験をもとにした新製品・新サービスの開発、自身の特技や強みを活かした新製品・新サービスの開発、AI等を活用した新サービス、システム開発、アプリ開発、などがあります。

日本大学 生産工学部 就職指導課

〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1 津田沼キャンパス

TEL: 047-474-2271 FAX: 047-474-2249



起業支援プログラムHP



プログラム紹介動画